

久慈川緊急治水対策プロジェクトの進捗状況（１）

【R8.7月末時点】



○令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した久慈川水系において、国、県、市町村が連携し、「久慈川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。
○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、社会経済被害の最小化を目指します。

①多重防御治水の推進【河道・流域における対策】

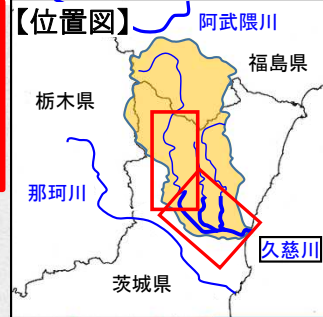
②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和８年度は、堤防整備や河道掘削等の改良復旧、霞堤の保全と整備、越水・決壊検知機器の活用による情報提供の迅速化、講習会等によるマイ・タイムライン普及促進などを進めています。
※なお、堤防決壊箇所の災害復旧関係は全て完了済

■河道・流域における対策

全体事業費 約 737 億円【国：約 721 億円、県：約 16 億円】
事業期間 令和元年度～令和８年度
目 標 令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
対策内容 河道掘削、堤防整備、霞堤整備 等

【位置図】



⑮ 大子町 大子地区（松沼橋）



⑥ 常陸大宮市 高渡地区

- 凡例
- 堤防決壊箇所（国）
 - 堤防決壊箇所（県）
 - 浸水範囲
 - 大臣（国）管理区間
 - 市役所・町役場

■河道・流域における対策

【土地利用・住まい方の工夫】
・浸水が想定される区域の土地利用制限（災害危険区域の設定等）
・家屋移転、住宅の高上げ（土地利用一体型水防事業、防災集団移転促進事業等）
・高台整備 等

■ソフト施策

・越水・決壊を検知する機器の開発・整備
・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
・ダム操作状況の情報発信
・台風第19号の課題を受けたタイムラインの改善
・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
・防災メール、防災行政無線等を活用した情報発信の強化
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
・緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施 等

国管理区間

■堤防整備等関係

地図記号	地 区	測量・設計	設計内容の説明	用地調査	用地補償	工事
測量・設計	測量作業	設計作業				
①	岩崎・小貫南	●	●	●	●	○
②	小貫北	●	●	●	●	○
③	山方	●	●	●	●	○
④	西野内	●	●	●	●	○
⑤	舟生	●	●	●	●	○
⑥	家利楽	●	●	●	●	○
⑦	盛金	●	●	●	●	○
⑧	西金	●	●	●	●	○
⑨	磯藤南	●	●	●	●	○
⑩	磯藤北〔右岸〕	●	●	●	●	○
⑪	磯藤北〔左岸〕	●	●	●	●	○
⑫	下津原	●	●	●	●	○
⑬	袋田	●	●	●	●	○
⑭	南田気	●	●	●	●	○
⑮	久野瀬	●	●	●	●	○
⑯	北田気	●	●	●	●	○
⑰	大子	●	●	●	●	○
⑱	矢田・川山	●	●	●	●	○
⑲	下野宮	●	●	●	●	○

■河道掘削関係

地図記号	地 区	測量・設計	用地調査	用地補償	工事
測量・設計	測量作業	設計作業			
①	東海村	●	●	●	●
②	日立市	●	●	●	●
③	常陸太田市	●	●	●	●
④	那珂市	●	●	●	●
⑤	常陸大宮市	●	●	●	●

＜凡例＞
●：済
○：実施中
△：準備中

※1～3画区間
※2画区間は配布による
※3画区間は
※4画区間は

権限代行区間

国管理区間

権限代行区間

久慈川緊急治水対策プロジェクトの進捗状況（2）

【R8.7月末時点】

○令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した久慈川水系において、国、県、市町村が連携し、「久慈川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。

○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、社会経済被害の最小化を目指します。

①多重防御治水の推進【河道・流域における対策】

②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和8年度は、堤防整備や河道掘削等の改良復旧、霞堤の保全と整備、越水・決壊検知機器の活用による情報提供の迅速化、講習会等によるマイ・タイムライン普及促進などを進めていきます。 ※なお、堤防決壊箇所の災害復旧関係は全て完了済



※事業進捗率は、緊急治水対策プロジェクト実施前からの継続内容が含まれています。また、今後の調査、検討の結果によっては、変更となる場合があります。